

小松基地・空港対策特別委員会開催状況

1. 日 時 平成 27 年 12 月 17 日（木）
午後 1 時 28 分 開会
午後 2 時 10 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 灰田昌典委員長、川崎順次副委員長、新田寛之委員、梅田利和委員、
片山瞬次郎委員、宮川吉男委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
 - (1) 調査事項
 - ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について
 - ・ 飛行教導群の新田原基地から小松基地への移動について
 - (2) 報告事項 **【飛行場課】**
 - ・ 住宅防音工事の状況について
 - ・ 飛行場周辺地区定住促進費の利用状況について
 - ・ 平成 27 年度上半期の緊急発進実施状況について
 - ・ 航空機へのレーザー照射について
 - (3) 閉会中の継続調査（審査）の申し出について
6. 委員長報告の要旨

先の定例会で、継続調査の議決をいただきました「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査について、閉会中も調査を続けてまいりましたので、本委員会での意見及び議論について、ご報告申し上げます。

はじめに、在日米軍再編に係る訓練移転についてであります。

今年度の訓練移転については、三沢基地、百里基地、築城基地、新田原基地においてそれぞれ実施されたとのことですが、小松基地においては、現時点で、実施にかかる報告は入っていないとのことでありました。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事柄であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めたものであります。

つぎに、飛行教導群の新田原基地から小松基地への移動についてであります。

先般の飛行教導群の移動に対する受入表明後、市長においては、防衛省と近畿中部防衛局に、市議会と小松飛行場周辺整備協議会においては、近畿中部防衛局に対し、飛行場周辺の安全対策、騒音対策、地域振興策等についての要望活動が実施されました。

飛行教導群の移動については、確実な騒音回数の増加が見込まれていることから、今回の要望事項については、本委員会としても、強くその実現を後押ししていく所存であります。

なお、要望事項の一つである近畿中部防衛局金沢防衛事務所の小松市への移転については、既に準備作業に入ったとのことであり、正式な移転は平成 29 年度の見通しとのことですが、相談窓口の設置回数を増やすなど、住民に対する更なる利便性の向上を図ることにより、実質的には前倒しとなるよう要望したとの報告があったことを申し添えておきます。

また、席上、小松基地における飛行訓練については、10.4 協定の遵守と市民生活への特段の配慮のもと、最大限の効果をあげるよう実施しているとの報告がありました。

最後に、住宅防音工事についてであります。

近畿中部防衛局は、住宅防音工事の待機者解消を図っていくとの趣旨から、今年度、新たな予算を確保し、既に空調復旧工事の希望を出している 400 件を対象に、交付申込書

を配布したとのことであります。さらに、早期着手を図るため、来年度予算分についても、空調復旧工事400件程度、建具復旧工事150件程度について、交付申込の手続きを開始したとのことであります。

ただし、今回の措置がなされても、なお、相当数の待機件数が残されているとのことでありますので、今後も継続的に住宅防音工事の待機者解消に向け、強く国に働きかけていくよう求めたものであります。

以上、本委員会の「飛行の安全」及び「飛行場周辺まちづくり」に関する調査は、重要かつ長期にわたるものであり、閉会中も引き続き調査研究すべきものと決した次第であります。